

利用規則

当ホテルでは、お客様に安全かつ快適にご利用いただくため、宿泊約款第10条に基づき次の通り利用規則を定めておりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。この規則をお守りいただけないときは、やむを得ずご宿泊ならびに当ホテル内諸施設のご利用をお断り申し上げ、かつ当ホテルが被った損害のご負担をいただく事もございますので、特にご留意くださいますようお願い申し上げます。

1. 客室利用について

- (1) 客室よりの避難経路図は、客室入り口のドアの内側に掲示しておりますのでご確認ください。
- (2) ご在室中や特にご就寝の際は、必ず内鍵とドアガードをおかけください。
- (3) ドアをノックされた時は、ドアガードをかけたままドアを開けるか、ドアスコープでご確認ください。また、不審者の来訪に際しては不用意に開扉なさらずにフロントにご連絡ください。
- (4) 火災になりやすい場所（特にベッドや布団の上）およびノースモーキングフロアでの喫煙はなさらないでください。
- (5) 客室内及び廊下では暖房用、炊事用等の火気、キャンドル等をご使用にならないでください。また、客室内での調理は厳にお断りいたします。
- (6) 許可なく客室を営業行為（展示会・その他）などご宿泊以外の目的にご使用にならないでください。
- (7) 許可なく客室内の備品を移動したり、また客室内に造作を施し、あるいは改造する等現状を著しく変更なさらないでください。万一備品の紛失、破損等があった際にはその実費を弁償いただくことがあります。客室内の小物、備品は客室外に持ち出さないでください。また、ホテルの外観を損なうようなものを窓側に置いたり、窓にお掛けにならないでください。
- (8) 夜間の来訪者とのご面会はロビーでお願いいたします。
- (9) 窓から物品をお投げにならないでください。
- (10) 予約の宿泊日数及び人数を変更なさる場合はあらかじめフロントにご相談ください。
- (11) ご滞在中お部屋からお出かけの際は、客室の鍵を必ずお持ちになり施錠をご確認ください。
- (12) 未成年者のみのご宿泊は、保護者の許可のない限りお断りさせていただきます。
- (13) 宿泊登録者以外のご宿泊は固くお断りいたします。

2. お支払い等について

- (1) お会計はご出発の際にフロントでお願いいたします。お勘定は、5日毎にお支払いいただきます。但し5日以内でも、当ホテルから請求があったときはお支払いいただきます。
- (2) ご到着時にお預かり金を申し受けがございますので、あらかじめご了承ください。
- (3) お買い物代、タクシーデ、郵便切手代、荷物送料等のお立て替えはお断りさせていただきます。
- (4) 個人小切手にてのお支払い及び両替は堅くお断りさせていただきます。
- (5) 客室内のお電話をご利用の際は、施設使用料が加算されますのでご了承ください。なお、公衆電話は1階ロビー、フロント脇にございます。
- (6) レストランとラウンジを除き、サービス料としてお勘定の10%を加算させていただいておりますので、お心付け等はご辞退申し上げます。

3. 貴重品、お預かり品について

(1) ご滞在中の現金、その他貴重品の保管については、客室に備え付けの金庫をご利用になるか、フロントに備え付けの貸し金庫（無料）をご利用ください。ご利用なさらないで万一紛失、盗難等が発生した場合には当ホテルはその責任を負いかねます。なお、美術品、骨董品等の品物はお預かりいたしかねます。

(2) 当施設内での遺失物などの処理は一定期間当施設が保管し、その後は遺失物法（平成13年法律第73号）にもとづいてお取扱いさせていただきます。

(3) クロークでのお預かり物は所定の期間を経過しても連絡がない場合、次の期間を限度とし、お引き取りの意思がないものとして処理させていただきます。

イ. クロークにてのお預かり物 1ヶ月

ロ. 貸し金庫にてのお預かり物 1ヶ月

ハ. ランドリーにご依頼の洗濯物 1週間

4. ホテル内での禁止行為

(1) 動物、鳥などのペット類及び家畜類の持ち込み。（身体障害者補助犬は除く）

(2) 火薬、揮発油、その他発火または引火性の物品等危険物の持ち込み。

(3) 悪臭を発する物及び大音量を発生する物の持ち込み。

(4) 法により所持を禁じられている鉄砲、刀剣、覚醒剤の類の持ち込み。

(5) ホテル外から飲食物等を持ち込むこと。

(6) とばくや風紀を乱すような行為、大声を出したり絡んだりすること、または他のお客様の迷惑になるような言動。

(7) ラウンジウェア、スリッパ等で、客室外に出ること。

(8) 広告、宣伝物の配布、物品の販売、勧誘など。

(9) 許可なく当ホテル内で写真撮影をすること、及び撮影した写真を営業上の目的で使用すること。

(10) 客室ドアを開放したまま使用すること。

(11) 携帯電話のご利用について、適切でない場所での会話や大声での通話など、他のお客様に嫌悪感、迷惑を及ぼす行為。

5. 利用制限

(1)「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成3年法律第77号)第2条に規定する暴力団又は暴力団員、若しくはこれら暴力団又は暴力団員と密接な関係を有する者及び団体等の当ホテルの利用はご遠慮いただきます。(ご予約後、あるいはご利用中にその事実が判明した場合には、その時点でご利用をお断りいたします。)

(2) 反社会的団体又は反社会的団体の構成員若しくはこれら団体又は団体構成員と密接な関係を有する者及び団体等の当ホテルのご利用はご遠慮いただきます。(ご予約後、あるいはご利用中にその事実が判明した場合には、その時点でご利用をお断りいたします。)

(3) 暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求及びこれに類する行為が認められる場合、直ちに当ホテルのご利用はご遠慮いただきます。また、かつて同様な行為をされた方についてもご遠慮いただきます。

(4) 禁止薬物の利用や、飲酒による自己喪失などで、ご自身の安全確保が困難であったり、他のお客様に危険や恐怖感、不安感、嫌悪感を与え又は与える恐れがあると認められるときは、直ちにご利用をお断りいたします。

(5) 館内及び客室内で、大声、放歌及び喧騒な行為等で他のお客様に迷惑を及ぼしたり、賭博や公序良俗に反する行為があつた場合には、直ちにご利用をお断り致します。

6. その他

(1) 館内の諸施設及び諸物品についてのお願い。

イ. その目的以外の用途にご使用なさらないでください。

ロ. ホテルの外へ持ち出さないでください。

ハ. 他の場所に移動したり加工したりしないでください。

(2) 廊下やロビーなどに所持品を放置なさらないでください。

(3) 緊急事態あるいは止むを得ない事情の発生しない限り、階段、屋根、塔屋、機械室等客用部分以外の施設内に立入らないでください。

(4) 不可抗力以外の理由により、建造物、備品その他の物品を損傷、汚染、あるいは紛失させた場合は、相当額を弁償していただくことがあります。

(5) 客室内を除き、各所に防犯カメラを設置しておりますので、あらかじめご了承ください。